

4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等

成人市中肺炎の重症度別患者数等の集計方法と定義

※ 入院契機病名および最も医療資源を投入した傷病名が肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎であって、さらにその中でもICD-10コード(注2*)がJ13～J18で始まるものに限定し、市中肺炎(注3*)の患者さんが対象となります。

(注1*)肺炎の重症度とは

重症度の判定【引用元】:成人市中肺炎診療ガイドライン 日本呼吸器学会「呼吸器感染症に関するガイドライン」

(注2*) ICD10とは「疾病及び関連保健問題の国際統計分類：International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems (以下「ICD」と略)とは、異なる国や地域から、異なる時点で集計された死亡や疾病のデータの体系的な記録、分析、解釈及び比較を行うため、世界保健機関憲章に基づき、世界保健機関(WHO)が作成した分類である。【引用元：厚生労働省HP 疾病、傷害及び死因の統計分類】

(注3*)市中肺炎とは

通常の社会生活を送っている中で発症した肺炎です。通常はインフルエンザ等のウイルスによるものも含まれますが、本指標では除外します。

使用する指標

- 1.男性70歳以上, 女性75歳以上
- 2.BUN 21mg/dLまたは脱水あり
- 3.SpO₂ 90%以下(PaO₂60Torr以下
- 4.意識障害
- 5.血圧(収縮期)90mmHg以下

重症度分類

- 軽症: 上記5つの何れも満たさないもの
中等症: 上記項目の1つまたは2つを有するもの
重症: 上記項目の3つを有するもの
超重症: 上記項目の4つまたは5つを有するもの
ただしショックがあれば1項目のみでも超重症とする

	患者数	平均在院日数	平均年齢
重症度 0	65	11.54	51.86
重症度 1	65	14.11	77.18
重症度 2	37	15.54	81.08
重症度 3	8	14.5	82.88
重症度 4	2	27	82
重症度 5	0	0	0
不明	1	11	76